平成２１年度第３回岐阜県入札監視委員会議事概要

平成２１年１２月１７日（木）
議会東棟３階　執行部控室

【県建設発注工事、資格停止の運用状況等に関する質疑応答】

（質疑無し）

【抽出事案に関する質疑応答】

１　恵下・正武ポンプ所非常用発電機修繕工事

Ｑ：　辞退者が多い理由はどのように考えているか。
Ａ：　配置技術者の手配ができない、金額的に合わないと聞いている。
Ｑ：　落札者は他の業者と比較して安いが、これは既設設備の業者が有利ということか。
Ａ：　落札者は既設エンジンメーカの子会社であり、そのノウハウを持っている。
Ｑ：　既設エンジンメーカと違うメーカが落札した場合、何か不都合があるか。
Ａ：　その部品が手に入れば、技術的にはそんなに難しくないので、工事は可能である。
Ｑ：　落札金額が、最低制限価格と近くなったことは、どのように考えるか。
Ａ：　落札者の内訳書を確認したところ、材料費や工場製作の部品といった金額は適正に計上されており、問題無かった。
Ｑ：　修繕工事の積算は、いろいろな工種が入っており複雑だと思うが、予定価格の積算はどのように行っているのか。
Ａ：　メーカ数社から見積もりを取って積算している。

２　公共地域活力基盤創造交付金事業　(橋梁補修)工事

Ｑ：　入札に参加した業者が２者と少ないが、県内には入札参加資格条件を満たす業者は、どれくらいあるか。
Ａ：　条件に該当する業者は、多治見土木事務所管内に２３者あるが、橋梁の補修工事ができる業者数は不明である。
Ｑ：　県内の他の橋梁の修繕工事も、同様に入札参加者が少ないか。
Ａ：　最近は参加する業者が少ない傾向である。
Ｑ：　他も同様に、入札率は高いのか。
Ａ：　落札率が９０％を切る工事もあるが、一概には言えない。
Ｑ：　橋梁メンテナンス関連の業者は、今回は参加していないのか。
Ａ：　今回参加した２者が、メンテナンス業者である。
Ｑ：　工事内容が、割に合わない工事ということか。
Ａ：　利益率が厳しい工種だと思う。

３　公共道路災害復旧(応急)工事

Ｑ：　施工できる業者は、ここしか無いのか。
Ａ：　緊急時であり、一番現場を熟知している最寄の業者が施工するのが適切であると判断した。
Ｑ：　通常は、応急工事と本体工事を一緒にやるのか。
Ａ：　特に緊急性が無い場合は、災害査定まで待ってから発注している。
Ｑ：　本体工事は、どこが施工したか。
Ａ：　本体工事は、別の業者が行った。これは指名競争入札で、別途契約した。
Ｑ：　道路維持修繕業務委託契約は、どのくらいの業者と契約しているのか。
Ａ：　可茂土木事務所管内で４つのブロックに分けて、４者と契約している。

Ｑ：　道路維持修繕業務委託契約は入札をするのか。
Ａ：　３月に入札し、４月に単価契約をする。

４　公共林道加茂東１工区工事

Ｑ：　６者が入札に参加しようとして、無資格業者が４者とは、どういうことか。
Ａ：　必要な資料が添付されなかったため、入札参加資格が無いと判断された。
Ｑ：　業者が出してきた資料を見て、間違いを指摘しないのか。
Ａ：　ある特定の業者に便宜を図ることになる可能性があるので、行わなかった。
Ｑ：　提出資料について分からなかったら質問できるのか。
Ａ：　質問の受付期間に質問があれば回答する。
Ｑ：　書類が出ないような業者は、どういう扱いになるのか。
Ａ：　特にペナルティーは無い。
Ｑ：　４者が単なる書類提出上の凡ミスで、入札に参加できないというのは問題ではないか。
Ａ：　今回の件以降、当事務所では補足資料を用意して、公告の時点で配布するようにしている。
Ｑ：　これは電子入札システム自体が分かりにくいのか。
Ａ：　システムで順番にやっていけば、その時点での提出書類は分かると思う。
Ｑ：　今回のように書類の不備があることは多いのか。
Ａ：　１者の書類が不備ということは時々あるが、４者が一度に失格になることは殆ど無い。

５　公共地域活力基盤創造交付金　一般国道248号(関バイパス)

Ｑ：　入札率が高いのは、どのように捉えているか。
Ａ：　予定価格を事前に公表しない、事後公表の試行案件であるが、全体として高くなる傾向がある。
Ｑ：　それはなぜか。
Ａ：　予定価格を公表していないので、業者が積算した金額で、そのまま応札してくると考えている。
Ｑ：　業者の積算が正しいということか。
Ａ：　結果を見ると、県の積算に近い積算をしていたといえる。
Ｑ：　同じような工事は、他でもやっているのか。
Ａ：　比較的一般的な工事であるため、積算も同じような数字が出てくると思う。

６　農業水利施設保全対策事業西濃用水　(山王･下立)地区　下立用水第２号工事

Ｑ：　毎年同じような工事をやっているのか。
Ａ：　平成１８年からこの事業が始まったが､耐用年数が過ぎたものから計画的に工事を行っている。
Ｑ：　工事の施工方法は同じか。
Ａ：　水路によって、色々な補修方法があるが、この用水路は、表面補修である。
Ｑ：　業者の入札率が近いが、そんなに特殊性の無い積算なのか。
Ａ：　始まったばかりの事業で、標準的な歩掛が無いので、業者の見積もりを元に積算している。
Ｑ：　辞退者が多い理由は何か。
Ａ：　辞退した業者から、採算が合わない、技術者が配置できないと聞いた。
Ｑ：　今後の工事場所はどのように決めるか。
Ａ：　事業の初年度に施設の診断を行って、これに基づき計画的に行っている。

７　県営基幹農道整備事業古川南部３期地区　小鷹利トンネル新設工事

Ｑ：　技術所見の差が付いた理由は。
Ａ：　コンクリートの品質に関する提案で、差が大きい結果となっている。
Ｑ：　これは経験の差なのか。
Ａ：　工事の実績、提案の仕方で差が出る。
Ｑ：　トンネル工事で総合評価でない価格競争のみの入札もあるか。
Ａ：　大規模なトンネル工事は、殆ど総合評価落札方式である。